

<全体分析>

試験時間 2 科目 150 分

解答形式

選択, 記述, 論述, 描図

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

難度の高い考察問題が出題される。

論述量が多い。

その他トピックス

【出題ミス】河合塾の指摘により, 大問2の問(4)を東北大学が撤回。2025年3月7日更新

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述 論述	細胞	生物基礎 生物	問(5)(ii) タンパク質の輸送および局在化を指示する特定の amino 酸配列をシグナル配列という。分泌タンパク質はリボソームで翻訳が始まり, シグナル配列が合成されると, この配列が認識されて粗面小胞体の内部に取り込まれる。	標準
2	選択 記述 論述 描図	神経・神経系	生物基礎 生物	問(4) ②実際には, シナプス前細胞以外の細胞にも神経伝達物質は回収されるが, いくつかの教科書では, シナプスで放出された神経伝達物質は, 「シナプス前細胞に回収される」のように記載されている。河合塾の指摘により, 東北大学が出題ミスを認め, 本問は受験生全員を正解とすることとなった。2025年3月7日更新	標準
3	選択 記述 論述	動物の行動 遺伝子 発生	生物	問(6) 「どの脳領域で」に関しては, 表1から, 系統1, 4, 6に共通して雄型 mRNA が転写されていて, 他の系統では転写されていない脳領域を選ぶ。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書レベルの知識を確実に身につけ, 教科書の「参考」欄などにも目を通しておこう。

論述問題が多いので, 短時間で要点をまとめて論述する練習をしておこう。

過去問の研究を十分にしておこう。